

## 2段階・履修項目(11)例題とポイント ＜自動車の保守管理＞

### ＜練習問題＞

- ① 自家用普通自動車は走行距離、運行時の状況から判断した適切な時期に日常点検をしなければならない。 (ヒント 下記1—①を参照) 教本 P162
- ② 日常点検をていねいにしていれば、定期点検は免除される。 (ヒント 下記1—②を参照)
- ③ すべての車は6ヶ月毎に点検をしなければならない。 (ヒント 下記1—②を参照)
- ④ ブレーキのあそびはない方がよい。 (ヒント 下記2—(1) ①参照) 教本 P163
- ⑤ ハンドルのあそびはあった方がよい。 (ヒント 下記2—(1)ワンポイント参照)
- ⑥ ファンベルトは、中央を手で押してベルトが少したわむ程度がよい。 (ヒント 下記2—(2)参照)
- ⑦ ファンベルトはできるだけピンと張るのがよい。 (学科教本 P165)
- ⑧ タイヤのチェックポイントは、高気圧、亀裂、摩耗、溝の深さである。 (ヒント 下記4—①参照) P166
- ⑨ タイヤの溝の深さは、ウェア・インジケータ(摩耗限度表示)などにより点検する。 (ヒント 下記2—(4)参照)
- ⑩ タイヤの側面にキズがあっても、直接路面に接してないので事故の原因とはならない。 (ヒント 下記2—(4) ②参照) 教本 P166
- ⑪ 二輪車のチェーンのゆるみは、全くないほうがよい。 (ヒント 下記3—ワンポイントを参照) P154
- ⑫ 二輪車でハンドルが重くなったら、重大な欠陥があると思って運転をやめる。 (ヒント 下記3—ワンポイントを参照)

### 1、日常点検、定期点検、定期検査(車検)

重要

- ① 日常点検・・・走行距離、運行時の状況から判断した適切な時期おこなうもの  
運転者が行うものです。 P162

車の故障を事前に予防するための大切な点検！

重要

- ② 定期点検・・・自動車の車種(大型車、普通車、自動二輪車など)や、用途(自家用、事業用)によって決められた時期に行うもの。(車屋さん、單車屋さんなどの指定工場で行ってもらう) 教本 P200 3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月ごとの3種類の期間がある。重要 日常点検をしっかりといても免除にはならない！！

すべての車の定期点検は同じ期間にするのではない！！

- ③ 定期検査・・・自家用の普通自動車を購入すると2年ごとに車検をうけなければならない。  
(車検) (新車で購入すれば、初回は3年です。)車検が必要な自動二輪車(250ccをこえるもの)も同じです。

事業用の自動車、自家用の大型自動車、自家用の普通貨物自動車、レンタカーは一年ごと車検を受けなければならない。

- ◎ 自動二輪車の日常点検、定期点検、定期検査(車検) (自家用の普通自動車と同じ)  
日常点検・・・走行距離、運行時の状況から判断した適切な時期に行う。

定期点検・・・大型自動二輪車、普通自動二輪車は12ヶ月ごとに点検を実施。

定期検査(車検)・・・大型自動二輪車、普通自動二輪車(250ccをこえるもの)2年ごと  
(新車で購入した場合は、初回は3年)

## 2、点検箇所と点検の方法

### (1) 運転席での点検 P163

- ① ブレーキペダルの踏みしろ、ブレーキレバーの引きしろ ブレーキのきき  
ペダルをいっぱい踏み込んだとき、床板とのすき間や、踏み応え(かたさ)が適当であるかを点検する。「あそび」(やわらかいところでブレーキがきかない部分) 「踏みしろ」(かたいところでブレーキがきく部分) 「すきま」(床板にペダルがあたるようではダメ)がしっかりあることを点検する。
- ② ハンドル(点検項目には入っていませんが大変重要なポイントなので覚えておいてね！)

ポイント



重要

◎ ハンドルの「あそび」はあったほうがよい。

\* ハンドルの「あそび」がなかったら、方向指示器やワイパーなどを操作して少しハンドルが動くだけで左右に蛇行してしまいまっすぐに走行できません。

### (2) エンジンルームの点検 P164

- ① ブレーキのリザーバータンクの液量  
規定の範囲(MAXとMINの間)にあるかを点検
- ② バッテリーの液量  
規定の範囲内(UPPERとLOWERの間)にあるかを点検
- ③ **ファンベルトの張り具合、損傷 教本P165**  
ベルトの中央部を手で押し、ベルトが少したわむ程度であるかを点検  
ベルトに損傷がないかを点検
- ④ ラジエーターなどの冷却装置の水量 教本P165

重要

学科試験に出てる！

適当な張り具合

ポイント



冷却水の量が規定の範囲内(FULLとLOWの間)にあるかを点検

エンジンルームの①～④については、毎時間教習で点検をしていますね！名前と部位が一致しない人は、担当指導員に聞いて確認してね！特にファンベルトはしっかりと確認して覚えてネ！高速へ行くときは、エンジンオイルの量と質を点検します。

### (3) 灯火装置、方向指示器の点灯、点滅具合やレンズの汚れ、損傷の有無の点検 P166

エンジンスイッチをONにして灯火装置の点検。1人で行う場合は壁などを利用するとよい。方向指示器、ブレーキランプが点灯、点滅しなかったら交通違反(整備不良)です。

### (4) タイヤの点検 教本P166

- ① **タイヤのチェックポイント……空気圧、亀裂、磨耗、溝の深さ**
- ② **タイヤの側面の小さなキズ、亀裂が大きな事故につながる所以要注意！**  
高速走行する場合は、空気圧を少し高め(10%～20%)
- ③ **溝の深さは、ウェア・インジケータ(スリップ・サイン)などにより点検。**

命を乗せてます！  
しっかり点検！

点検の際にどんなものか確認！

### 3、二輪車の点検箇所と点検の方法 P154

燃料、オイル、車輪、チェーン、エンジンまわり、ブレーキ前後(あそび15mm～20mm程度引き応え)、クラッチ、灯火類、バッテリー、ねじの締め付け具合を点検。

ポイント



重要

チェーンの張り具合……チェーンの中央部を指で押してみても少したわみのある程度。

ピンと張っていると切れてしまう！ 適当な張り具合を確認

運転中にハンドルが重くなったら……タイヤの空気がないかパンクしているので運転をやめる！

学科試験に出てる！